（様式５）

令和5年 月 日

「ESGファイナンス・アワード・ジャパン事務局」　殿

申請者 住所

氏名　法人の名称

　　代表者の役職・氏名

第5回ESGファイナンス・アワード・ジャパン応募申請書  
（証券部門）

１．応募の名称

※　対象取組を踏まえて、提案事業の名称を記載してください。

「　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　」

２．応募者概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 企業・団体 | 企業・団体名 |  |
| 代表者名 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 代表電話番号 |  |
| 担当者 | 氏名(ふりがな) |  |
| 所属 |  |
| 役職 |  |
| 電話番号 |  |
| E-mail |  |
| 連名の場合 | 社名１ |  |
| 社名２ |  |
| 社名３ |  |

３．ガバナンス体制

1. 自社・自団体および子会社等において、法令違反や重大な懸念事項を有していないことを確認していますか。  
   ※2022年度から2023年度の応募締切までに、法令違反や重大な懸念事項が生じていないことが応募の要件となります。詳細は募集要項の６.募集期間・応募方法（２）応募対象・資格をご確認ください。

※応募申請書提出後に上記に該当する事案が発生した場合は、すみやかに事務局までご申告ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 確認している | □ | 確認していない |

1. 財務の健全性確保や、法令違反や重大な懸念事項を回避するためのガバナンス体制を構築していますか。構築している場合は、そのガバナンス体制について記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 構築している | □ | 構築していない |

“構築している”に**✔**をした場合にはガバナンス体制について記載してください。

|  |
| --- |
|  |

４．取組内容＜１＞全般

|  |
| --- |
| 表彰対象となる取組の概要   * 自らの理念、行動原則、投資方針等を踏まえ、投資サイクル全体でESG投資を推進し、日本の金融市場において環境・社会へインパクトを与えることを意図している事業及び企業への資金供給を促進している取組 |

※応募内容は、”E”（環境）を中心に、10～15枚以内での記載をお願いいたします。なお、フォーマットは以下に限定せず、設問に記載の要素を含む形で適宜変更いただいて構いません。

※個別の取組を評価する特別賞を設けております。そのため、全事項を記載できない場合でも、積極的にご応募ください。

※インパクトについては、環境省が2020年7月に取りまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」をご参照ください。（インパクトファイナンスの基本的考え方：<http://www.env.go.jp/press/files/jp/114284.pdf>）

【目標・戦略・フレームワーク】

1. 債券等の発行支援（引受業務）及び金融商品販売に関して、社会的な課題解決等、インパクトの創出を目的にした戦略（環境・社会・経済に対しどのようなポジティブインパクトを発現・増大していくのかという狙い）や方針、目標※をどのように定めていますか。  
   ※目標としては、環境・社会関連の目標あるいはサステナブルファイナンスに関する目標を記載してください。また、中期目標、長期目標の両方（ある場合）を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. ①に関する戦略や方針に基づいた引受業務、金融商品販売業務等を促進していくための実効性のある取組計画および体制について記載してください。なお、体制については、組織内外で連携している取組や透明性を確保するための取組を含んでください。

|  |
| --- |
|  |

1. ①②を踏まえ、設定した目標や取組計画に対する進捗状況について記載して下さい。また、それらを開示している場合は、開示先について記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. ①に関する戦略や方針に基づいた取組について記載をしてください。

|  |
| --- |
|  |

【透明性】

1. 引受をする債券等の発行体に対して透明性を確保するための要請等の実施している事項、金融商品の販売において、商品開発者に対して透明性を確保するための要請等の実施している事項について記載をしてください。  
   （引受をする債券等の対象事業等が環境・社会に対して悪影響を及ぼさないことの確認に関しての要請についても触れてください。また、自らも確認している場合はその取組について記載してください。）

|  |
| --- |
|  |

【体制・実績】

1. ①で提示した中/長期の目標をするために、経営層がどのようにコミットメントしているか、またそれを実現するためのPDCA体制があるか、以下に記載してください。

|  |
| --- |
|  |

※実績では、ESG関連の債券等の引受金額とESG関連の金融商品の販売額が評価対象となります。  
申請者の要望に応じて、評価対象をどちらに絞ることも可能です。以下に希望する評価対象に✔を入れてください。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 引受金額、販売金額を共に対象とする |
| □ | 引受金額のみを対象とする |
| □ | 販売額のみを対象とする |

1. ESG関連の債券等の引受金額及び金融商品の販売額を記載してください。  
   ※全体での金額に加え、対象事例、個別商品単位での金額をそれぞれ記載してください。個別事例のうち、2021年度以降の代表的な事例については後述の５．取組内容＜２＞代表的な事例について記載してください。

１：ESG関連の債券等（※１）の引受金額：

|  |  |
| --- | --- |
| 全体額 | 2021年度  2022年度  2023年度（※２） |
| 個別事例リスト （2021年度） |  |
| 個別事例リスト （2022年度） |  |
| 個別事例リスト （2023年度※２） |  |

※フォーマットは上記に限定せず、上記の要素を含む形で適宜変更いただいて構いません。

※１：グリーンボンドとサステナビリティボンド、トランジションボンドの引受額を対象とします。

※２：2023年度については、9月末までを対象とします。

２：ESG関連の金融商品の販売額：

|  |  |
| --- | --- |
| 全体額 | 2021年度  2022年度  2023年度（※1） |
| 個別事例リスト （2021年度） |  |
| 個別事例リスト （2022年度） |  |
| 個別事例リスト （2023年度※1） |  |

※フォーマットは上記に限定せず、上記の要素を含む形で適宜変更いただいて構いません。

※１：2023年度については、9月末までを対象とします。

【インパクト】

1. 環境課題や社会課題の解決等に関わる、インパクトの創出を目的にした戦略や方針を踏まえて実施されている引受や商品販売を通じて、発行体および関連する主体の取組をどのように促進していますか。また、左記の取組により創出されるインパクトを把握し開示している場合は、どのような方法でインパクトの特定をしているか、そのインパクトがどの程度か記載してください。（インパクトについては定性的な記載でも構いません。）

|  |
| --- |
|  |

【新規性・波及性】

1. ①で提示した社会的な課題や方針、目標等を実現するための新規性や独自性について記載してください。また、ESG投資の拡大や発行体及び企業等のサステナビリティに関する取組の拡大につながっているか、記載をしてください。なお、ここでの新規性には、自社にとって新たな挑戦であり、今後の行動様式にポジティブな影響を与えることにつながるような場合も含んでいます。

|  |
| --- |
|  |

1. ESG金融に関連するイニシアティブ等に署名、参加していますか。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □ | 署名・参加している | □ | 署名・参加していない |

署名・参加しているに✔した場合、署名・参加しているイニシアティブの名称、関連する活動について記載をしてください。

|  |
| --- |
|  |

５．取組内容＜２＞代表的な事例

※応募内容は、”E”（環境）を中心に、最大2つの事例について、各５枚以内での記載をお願いいたします。事例については、引受、販売のいずれかを２件あるいは1件ずつ記載することが可能です。なお、フォーマットは以下に限定せず、設問に記載の要素を含む形で適宜変更いただいて構いません。

（引受に関する個別事例）  
※引受事例を2件記載する場合は、以下の項目で2件目を1件目の後に記載してください。

1. 代表的な事例についての概要を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 事例名 |  |
| 参考URL |  |
| 概要 |  |

【インパクト】

1. ①で記載した事例において、資金調達者がサステナブルファイナンスによる資金調達を実施したことで環境・社会にどのようなインパクトを創出することを意図していましたか。また、そのインパクトを創出するために資金調達のフレームワーク等でどのような工夫をし、確認されたインパクトを成果として開示されましたか。

|  |
| --- |
|  |

1. ①で記載した事例において、資金調達者の取組において生じるとされる環境・社会への重大なネガティブインパクトについて、どのように確認し、重大なネガティブインパクトが生じうる場合の対応方針をどのように定め、開示されていますか。

|  |
| --- |
|  |

【透明性】

1. ①で記載した事例において、資金調達者の開示を促進させるなど、どのように透明性の向上に向けた取組を資金調達者に要請したか記載してください。

|  |
| --- |
|  |

1. ①で記載した事例において、外部のレビューや第三者評価を受けるなど、透明性をどのように確保していますか。また、上記に関する内容を開示していますか。

|  |  |
| --- | --- |
| 内容 |  |
| 開示 | 開示先※ ： ※開示先には、該当箇所がわかるようにページ数等を記載してください。  URL　　　： |

【新規性・波及性】

1. ①で記載した事例に関する新規性や独自性について記載してください。また、サステナブルファイナンスでの資金調達の拡大につながっているか、記載してください。なお、ここでの新規性には、自社にとって新たな挑戦であり、今後の行動様式にポジティブな影響を与えることにつながるような場合も含んでいます。

|  |
| --- |
|  |

（販売に関する個別事例）  
※販売事例を2件記載する場合は、以下の項目で2件目を1件目の後に記載してください。

1. 代表的な商品についての概要を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 商品名 |  |
| 参考URL |  |
| 取組概要 |  |

【インパクト】

1. ⑦で記載した事例において、資金調達者がサステナブルファイナンスによる資金調達を実施したことで環境・社会にどのようなインパクトを創出することを意図していましたか。また、そのインパクトを創出するために資金調達のフレームワーク等でどのような工夫をし、確認されたインパクトを成果として開示されましたか。加えて、環境・社会に重大なネガティブインパクトが生じうる場合の対応方針やその開示方法について記載してください。

|  |
| --- |
|  |

【新規性・波及性】

1. ⑦で記載した事例に関する新規性や独自性について記載してください。また、どのようにサステナブルファイナンスでの資金調達の拡大につながっているか、記載してください。なお、ここでの新規性には、自社にとって新たな挑戦であり、今後の行動様式にポジティブな影響を与えることにつながるような場合も含んでいます。

|  |
| --- |
|  |